

西岡五夫：丹参エキス並びに精製画分の正常，腎不全ラットの腎機能に及ぼす効果 その4. 第4回和漢医薬学会，1987，8，富山.

- 10) 莫 遵立，吳 小琦，横澤隆子，大浦彦吉：実験的腎不全ラットに対する各種方剤の作用. 第4回和漢医薬学会，1987，8，富山.
- 11) 横澤隆子，大浦彦吉：ラットの生存関数並びに生存率に対する高麗人参粉末の影響について. 第4回和漢医薬学会，1987，8，富山.
- 12) 長沢哲郎，大浦彦吉，野中源一郎，西岡五夫：大黃成分 Rhatannin の Glutamine Transamination に対する促進効果の作用機構について. 第4回和漢医薬学会，1987，8，富山.
- 13) 横澤隆子，大浦彦吉：糖，脂質並びに窒素代謝に対する薬用人参サポニン Rb₂ の作用. 第60回日本生化学会大会シンポジウム，1987，10，金沢.
- 14) 横澤隆子，鄭 海泳，大浦彦吉：新しい慢性腎不全モデルラットの作製(I). 第60回日本生化学会大会，1987，10，金沢.
- 15) 鄭 海泳，横澤隆子，大浦彦吉，野中源一郎，西岡五夫：慢性腎不全ラットの腎機能に対する丹参精製画分の作用(II). 第60回日本生化学会大会，1987，10，金沢.
- 16) 横澤隆子，鄭 海泳，大浦彦吉：アデニン誘発腎不全ラットの病態生理. 第30回日本腎臓学会総会，1987，10，東京.
- 17) 三瀧忠道，寺澤捷年，横澤隆子，大浦彦吉：慢性腎不全患者における和漢薬治療の腎機能障害進展に対する抑制効果の検討. 第30回日本腎臓学会総会，1987，10，東京.
- 18) 大浦彦吉，横澤隆子，寺澤捷年，三瀧忠道：尿毒症に対する和漢薬(中薬)の改善作用とその機序(II). 第2回和漢薬(中薬)の医学薬学的研究に関する日中シンポジウム，1987，11，北京.
- 19) 大浦彦吉：和漢薬による Uremic toxin の低下作用. 第4回生体防御講演会，1987，11，富山.

◆ その他

- 1) 大浦彦吉：薬用人参への近代的アプローチ。「薬用人参研究対談集 -基礎から臨床応用まで-」山本昌弘編，11-20，クリニックマガジン社，1987.

病 態 生 化 学

教 授 荻 田 善 一
助 教 授 中 島 松 一
助 手 丸 山 由 紀 子
文 部 技 官 林 和 子

◆ 著 書

- 1) 荻田善一，柴田 太：スーパーオキシドジスムターゼの遺伝と後成的修飾。「活性酸素」荻田善一，大浦彦吉編，62-70，共立出版，1987.

◆ 原 著

- 1) Tojo H., Fukumaki Y. and Ogita Z.: Experimental production of transgenic mice carrying human β -globin genes. *Exp. Anim.*, **36**: 11-16, 1987.
- 2) 立屋敷かおる，今泉和彦，戸田典子，鷹股 亮，上杉公仁子，荻田善一：血漿エタノールレベルの日内変動に対する胃内容物の役割—in vivo レベルの検討—。日本栄養・食糧学会誌 **40**: 35-42, 1987.
- 3) 立屋敷かおる，今泉和彦，荻田善一：ラット肝アルコール脱水素酵素活性の部位差，性差および発育差。日本栄養・食糧学会誌，**40**: 207-212, 1987.

◆ 総 説

- 1) 荻田善一：キメラマウスの作製法。「バイオテクノロジー—実験法—遺伝子工学—」，実験医学臨時増刊号，1128-1137，羊土社，1987.

◆ 学 会 報 告

- 1) 柴田 太，鈴木健治，黄 愛萍，荻田善一：老化促進モデルマウス(SAM)のSOD遺伝子，第4回老化促進モデルマウス(SAM)研究協議会，1987，3，京都.
- 2) 立屋敷かおる，今泉和彦，荻田善一：有機酸による血中エタノール濃度の低下作用と胃排出機能の連関. 第7回「アルコール代謝と肝」研究会，1987，4，奈良.
- 3) 今泉和彦，立屋敷かおる，鷹股 亮，荻田善一：遊泳運動による摂取エタノールの生体内分布の変動と体温調節反応. 第7回「アルコール代謝と肝」研究会，1987，4，奈良.
- 4) Tachiyashiki K., Imaizumi K., Takamata A., Uesugi K., Kamada N. and Ogita Z.: Role of cotents in stomach to the circadian variation of plasma ethanol concentration in the rat. 第64回日本生理学会，1987，4，千葉.

- 5) Tachiyashiki K., Imaizumi K., Takamata A., Uesugi K. and Ogita Z.: Developmental change and sex- and portion-difference to activity of alcohol dehydrogenase in the liver of rat. 第64回日本生理学大会, 1987, 4, 千葉.
- 6) 黒沢信幸, 萩田善一: マウス顎下腺プロテアーゼの基質特異性. 日本生化学会北陸支部第5回大会, 1987, 5, 金沢.
- 7) 黒沢信幸, 丸山由紀子, 萩田善一: セルロースアセテート膜を基質保持体とする新しい酵素活性検出法. 第37回電気泳動学会, 1987, 6, 東京.
- 8) 黒沢信幸, 松原 猛, 丸山由紀子, 萩田善一: マウス唾液プロテアーゼを指標酵素とした男性ホルモン作用の解析. 第37回電気泳動学会, 1987, 6, 東京.
- 9) 黄 愛萍, 黄 兆勝, ハムディ タイエ, 萩田善一: 八味地黄丸効果の薬理遺伝学的解析. 第4回和漢医薬学会学術総会, 1987, 8, 富山.
- 10) 柴田 太, 黄 愛萍, 久村富徳, 鈴木健治, 萩田善一: ベルベリン感受性マウスの育成とその病態生化学的研究. 第4回和漢医薬学会学術総会, 1987, 8, 富山.
- 11) 立屋敷かおる, 今泉和彦, 篠原達雄, 近藤弘之, 久村富徳, 萩田善一: 動物胆汁製剤のエタノール代謝に及ぼす影響. 第4回和漢医薬学会学術大会, 1987, 8, 富山.
- 12) 上川 浩, 内山 務, 萩田善一: オウバクに含まれる抗炎症物質. 第4回和漢医薬学会学術総会, 1987, 8, 富山.
- 13) 萱垣 昇, 広瀬三智子, 萩田善一: 霊芝の系統的品質評価法 (第3報). 第4回和漢医薬学会学術総会, 1987, 8, 富山.
- 14) 柴田 太, 黒沢信幸, 横井 透, 萩田善一: マウス Cu, Zn 型スーパーオキシドジスムターゼ遺伝子のクローニング. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 15) 黒沢信幸, 萩田善一: マウス顎下腺プロテアーゼの性質. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 16) 東條英昭, 服巻保幸, 萩田善一: ヒト γ/β グロビン遺伝子のマウスへの導入. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 17) 柴田 太, 黒沢信幸, 横井 透, 林 和子, 萩田善一: Development of a partial-model mouse of Down syndrome. 第32回日本人類遺伝学会大会, 1987, 11, 前橋.
- 18) Imaizumi K., Tachiyashiki K. and Ogita Z.: Temperature dependence of swimming exercise-induced change in ethanol metabolism and thermoregulatory responses in the rat. Matsumoto International Symposium on High-Altitude Medical Sciences, 1987, 11, Matsumoto.
- 19) 中島松一: (低X高) F₁ マウスにおける抗 B α A 抗体多様性の両親様変移. 日本免疫学会, 1987, 11, 金沢.
- 20) 東條英昭, 久保政美, 服巻保幸, 萩田善一: ヒト γ/β -グロビン遺伝子の導入によるトランスジェニックマウス. 第16回関西実験動物学会, 1987, 12, 大阪.

化 学 応 用

教 授 菊 池 徹
 助 授 金 岡 又 雄
 助 手 門 田 重 利
 文部技官 手 塚 康 弘

◆ 原 著

- 1) Kadota S., Shima T. and Kikuchi T.: Studies on the Constituents of Orchidaceous Plants. VII. The C-24 Stereochemistry of Cyclohomonervilol and 24-Isopropenylcholesterol, Non-conventional Side Chain Triterpene and Sterol, from *Nervilia purpurea* Schlechter. Chem. Pharm. Bull. **35**: 200-210, 1987.
- 2) Haque M. E., Kikuchi T., Kanemitsu K. and Tsuda Y.: Stereoselective Deoxygenation *via* Regioselective Thioacylation of Non-Protected Glycopyranosides by the Dibutyltin Oxide Method. Chem. Pharm. Bull. **35**: 1016-1029, 1987.
- 3) Kizu H., Imoto Y., Tomimori T., Tsubono K., Kadota S. and Kikuchi T.: Structure of Scuterivulactone D Determined by Two-Dimensional NMR Spectroscopy. A New Diterpenoid from a Chinese Crude Drug "BAN ZHI LIAN" (*Scutellaria rivularis* WALL). Chem. Pharm. Bull. **35**: 1656-1659, 1987.
- 4) Hattori M., Hada S., Kawata Y., Tezuka Y., Kikuchi T. and Namba T.: New 2,5-Bis-aryl-3,4-dimethyltetrahydrofuran Lignans from the Aril of *Myristica fragrans*. Chem. Pharm. Bull. **35**: 3315-3322, 1987.
- 5) Takaishi Y., Ukita K., Noguchi H., Nakano K., Tomimatsu T., Kadota S., Tsubono K. and Kikuchi T.: Structure of triptofordinine A-1 and A-2 De-